

2014 年 12 月 4 日

来るホリデーシーズン、デバイスを購入する方は、 一番重要なアクセサリをお忘れなく

(2014 年 11 月 25 日ヘルシンキ発 - フィンランド本社発表資料抄訳)

スマートフォンやタブレット端末を保護するためのカバーやケースは手に入れても、デバイスの Wi-Fi 接続と、それに伴うプライバシーの保護を疎かにしてはいませんか。

今年もまた年末商戦の季節がやってきました。家族や恋人のためにデバイスやアクセサリを求める人が殺到し、スマートフォンやタブレットの本体だけでなく、デバイスを傷や衝撃から保護するケースやカバー、バッグなどを買って求めていくことでしょう。しかし、デバイスを物理的な被害から保護する一方で、多くの人々がデバイスの Wi-Fi 接続と自身の個人情報については、人目にさらしたままにしているのです。

デバイスのケースやカバーは広く普及しています。スマートフォンやタブレット端末にカバーなどを付けないまま、長期間使用する人はあまりいないでしょう。Amazon.com の「ケースとカバー」のページには、1,300 万もの膨大なアイテムが掲載されています。また、2014 年度末には、携帯電話のアフターマーケットアクセサリの収益は全体で 510 億ドルになるとみられ、その中でも保護ケースは 130 億ドルを占め、最高の売り上げを記録しているアイテムとなっています*。

しかし、デバイスの物理的な保護対策をしっかりと行っている一方で、それほど目立たないものの、より重要なところが無防備なままです。安全性が保証されていない公衆 Wi-Fi のホットスポットを利用するということは、偽のホットスポットを設置してトラフィックを監視するデータ窃盗犯によってデータが不正利用される危険にさらされるということです。最近のエフセキュアの調査**によれば、回答者の 3 分の 2 が、少なくとも月に 1 度は公衆 Wi-Fi ホットスポットに接続していることがわかっています。しかし、エフセキュアのセキュリティアドバイザー、ショーン・サリバンによれば、今では Wi-Fi 接続時のプライバシーを保護する VPN アプリを簡単に入手できるにもかかわらず、大多数の人が接続をスヌーピングから保護するための対策を取っていないということです。

サリバンは次のように述べています。「多くの方は、外出中に公衆 Wi-Fi を利用することに何の懸念も抱いていません。しかも大部分の方は、全く保護対策を講じないまま利用しているのです。デバイスの接続を保護していなければ、公衆 Wi-Fi 接続時にしていることが何であっても、それはたくさんの方がいる部屋の中で大声で話をしているようなものです。人々はデバイスの物理的な保護に多くのお金を使っている一方で、本当に重要な部分、すなわち、個人のデータやプライバシーには全くお金をかけていないのです。」

ところで、偽のホットスポットを設置することは難しく、費用もかかるのではと思われるのではないのでしょうか？そんなことはないのです。データ窃盗犯は、たったの 250 ドル以下（iPad mini よりも低価格）で、正規の Wi-Fi ホットスポットの偽物を作る装置を購入したり、用意したりすることができます。そして、ユーザのデータトラフィックを監視し、ユーザ名やパスワードなどの個人情報を取得するのです。高価な皮製のカバーは、タブレット端末を落としたときは保護してくれますが、毒されたホットスポットでネットサーフィンを行っているときに、個人データを保護してくれるわけではありません。

サリバンはまた、次のように述べています。「iPad のカバーの価格は 39 ドルです。それよりもはるかに少ない金額で、外出先での接続時における個人データのプライバシーを 1 年間保護することができます。デバイスが傷ついたり衝撃を受けたりしても、その損害は表面的なものに過ぎません。また、最近では、画面にひびが入った場合でも、修理のために車で自宅まで来てくれるサービスもあります。しかし、パスワードなどの個人情報が盗まれた場合、ユーザのオンラインアカウントを再び保護し、ユーザ個人が受けた被害を元通りに修復することは、ずっと難しいことなのです。」

F-Secure Freedom は、公衆 Wi-Fi 上でユーザを保護します。ホットスポットが監視されている場合でも、データが暗号化されるため、誰にも読み取られることはありません。その上、マルウェアやオンライントラッキングに対しても保護します。Freedom は、高価なケースやカバーでは守ることのできないデジタルデータを保護する、セキュリティとプライバシーの総合的なソリューションです。Freedom は、年間 3,000 円/26.99 ユーロ/20.99 ポンド/29.99 ドルでご利用いただけます。

*出典：ABI リサーチ <https://www.abiresearch.com/press/revenues-for-aftermarket-accessories-to-hit-us51-b>

**出典：F-secure Consumer Values Study 2014 では、6 カ国（米国、英国、フランス、ドイツ、ブラジル、フィリピン）の 4,800 人（各国 800 人、年齢、性別、所得別）を対象にオンラインインタビューを実施しました。調査は Informed Intuitions とともに企画し、データは 2014 年 7 月に Toluna Analytics で集計されました。

*エフセキュアの社名、ロゴ、製品名は F-Secure Corporation の登録商標です。

*本文中に記載された会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。



<http://www.f-secure.co.jp/>

F-Secure – Switch on freedom

エフセキュアは、オンラインセキュリティおよびプライバシー保護を提供するフィンランドの企業です。弊社は、世界中の何百万人もの人々が、監視されることなくインターネットを楽しみ、さまざまなデータを保存や共有する力と、オンラインの脅威からの安全性を提供します。弊社の存在意義は「デジタルフリーダム」のために闘うことです。この動きに参加し、自由のために闘いましょう。1988年創業のエフセキュアは、NASDAQ OMX Helsinki Ltd に上場しています。

エフセキュア株式会社は、エフセキュア社 100%出資の現地法人として設立され、以降、増収を続けながら順調に企業規模を拡大しており、2014年5月に日本法人設立満15周年を迎えました。

会社名: エフセキュア株式会社
カントリーマネージャ: アリエン・ヴァン・ブロックランド
所在地: 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-11-14 GS 千代田ビル 5F
設立: 1999年5月
事業内容: セキュリティ関連製品・サービスの販売およびサポート

本件に関するお問合せ先

エフセキュア株式会社

マーケティング部

Tel: 03-3556-6301 Fax: 03-3556-6295

Email: japan@f-secure.co.jp

〒102-0082 東京都千代田区飯田橋 3-11-14 GS 千代田ビル 5F

URL: <http://www.f-secure.co.jp/>

Blog: <http://blog.f-secure.jp/>